



むなかた市議会だより

平成26年12月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/shinai/gikai/gikai-index.php
●メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

市の機構改革案に

議会が「待った！」

平成26年12月定例会が、11月28日から12月19日の期間で開催され、19議案について審議を行いました。そのうち、組織・機構を見直すために市から提案された第88号議案「機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例について」は、閉会後の継続審査となりました。

機構改革の概要

今回の機構改革案は、「簡素で効率的」「新たな行政課題等に対応」「市民が利用しやすい」「わかりやすい」という3つの視点から行なうものです。

主な改革内容は、「子ども行政のさらなる充実強化を図るため、教育部と子ども部を統合した教育子ども部の新設」「総合スポーツセンターの整備に向けた事前調査などを行う総合スポーツセン

12月定例会では

継続審査

審査を行った総務常任委員会では、質疑の中で、委員から「機構改革を考えるに至った理由がはっきりしていない」「改革の視点と改革内容が一致していないのでは」などの意見が出され、また、機構改革後の庁舎レイア

ター建設準備室の設置」「交通施策の一本化のため交通対策課の新設」などです。

ウト案が決まっていなくて疑問の声もありました。その後、委員から、もっと時間をかけて審査を行う必要がある、本定例会中に審議を終えることは難しいとの理由から、定例会閉会後も引き続き審議を行う継続審査の提案があり、賛成多数で可決しました。そして、本定例会の最終日の本会議においても、委員会の継続審査の提案が承認されました。

平成27年1月に
委員会および
臨時会を開会

12月定例会閉会後の1月5日に、継続審査のための総務常任委員会を開会。前回の委員会でも論点となった、総合スポーツセンター建設準備室・教育子ども部の新設の理由や機構改革時のレイアウト案について議論がなされました。委員会では賛成多数で可決し、委員からは「議案の説明において、しっかりとした事前準備を」「これを機に、市民にもわかりやすい議論を」などの要望も出されました。その後、1月15日に開会した臨時会でも、活発な討論がなされましたが、最終的に賛成多数で可決しました。

皆さんの幸せが
おとすれますように



吉田益美議長

新しい年を迎え、はやひと月が経ちました。市民のみなさまにおかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、議会報告会のリニューアル、議会による事業評価、一般質問でのプロジェクト利用、インターネットを利用した議会資料の事前配布など、さまざまな改革や改善に取り組んでまいりました。

議会報告会については、議員と参加者がテーブルを囲む座談会方式とし、より多くの方と深く意見交換ができるようにしました。

議会による事業評価については、これまで執行部が行ってきた「事業仕分け」や「むなかた

改善会議」とは一線を画し、本来、議会が持つ行政への監視機能を具体化するものとして、取り組みを始めたものです。手始めに6事業の評価を行いました。本年は、さらに多くの事業を評価対象とする予定です。評価結果については、予算特別委員会審査の参考とし、次年度予算に十分反映させていきたいと考えております。

これからも、議会が一体となって、その役割を十分に果たしていくため、改革改善の努力を重ねてまいりますので、これまでと同様、ご理解とご協力を賜りますようお願いし、新年のあいさつとさせていただきます。

全員賛成で可決
消防活動強化のため、市役所・
県総合庁舎合同
消防分団を設置



平日常務の消防活動強化のために、市職員、福岡県宗像総合庁舎に勤務する福岡県職員、市役所本庁に勤務する関係機関職員計25人で構成する消防分団を設置し、平日勤務時間に発生した火災出動と行方不明者の捜索を行うものです。審査を行った総務常任委員会では、委員から「各地域の分団とコミュニケーションを図り、補助、手助けができるように頑張ってもらいたい」との意見が出ました。

全員賛成で可決
平成26年度
補正予算

歳入歳出それぞれ5億1633万7千円を増額し、総額353億9370万3千円とするものです。

今回の補正予算の主な内容は次のとおりです。

- ◇家賃補助などに係る申請件数の増加のため、定住化推進事業費を増額（7716万円）
- ◇東郷小学校の児童数増加に伴う仮設校舎の建設のため、小学校運営費を増額（3150万円）
- ◇人件費について、国の人事院勧告に伴い、市長、副市長および議員の期末手当ならびに職員の給料、勤勉手当などを増額（4005万円）

副議長就任 あいさつ

11月4日の臨時会にて、小島前副議長の辞任に伴う副議長選挙が行われ、花田議員が副議長に選出されました。



花田鷹人副議長

佐することは言うに及ばず、地方自治法では議長の代理をする職とされており、微力ではありますが、議事に課せられた役割を肝に銘じ、全力で副議長の務めを果たす所存でございます。今後ともよろしくお願いいたします。

このたび、副議長に選出されたことは、大変光栄であると同時に責任の重大さを痛感しているところであります。副議長職は、議長を補助

意見書

1件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

国へ提出

少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

【賛成多数で可決】

〈要旨〉
社会状況などの変化により学校は、一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が必要であり、また、新しい学習指導要領が本格的に始まり、授業時数や指導内容が増加していることから、OECD諸国並みの35人以下学級の推進を求める。また、子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられるよう、義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合を2分の1に復元することを求める。

平成26年11月に開催 「議員と語ろう!」議員座談会

毎年開催しています議会報告会を、今回は、多くの方が発言できるように座談会方式で行いました。自由ヶ丘・日の里・池野地区のコミュニティ・センターで開催し、計53人のみなさんにご参加いただきました。



「子育て・教育」「健康・福祉」「地域活性化」の3つのテーマごとに、市民のみなさんと議員が、課題や解決方法について議論を交わしました。テーブルを囲んだ座談会方式としたことで、参加した方々には、率直で活発に発言していただくことができました。

今後も、議会運営や市のまちづくりを考えていく上で、多くの方のご意見をいただけるよう工夫していきたいと思っています。

平成26年12月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が、市の行政事務全般について、市の見解を問うものです。



「スペシャルオリンピックス2014福岡」のロゴマーク

問 税外収入の確保のために自治体クラウドファンディング（※1）の導入を提案する。

答 現在ふるさと寄付等の検討を進めているので、できることから実施していきたい。

問 人まち助成金団体の補助期間終了後の活動状況の把握と自立支援につ

新たな資金調達手法などについて

とびうおクラブ／安部芳英

問 税外収入の確保のために自治体クラウドファンディング（※1）の導入を提案する。

答 現在ふるさと寄付等の検討を進めているので、できることから実施していきたい。

問 知的障がい者のスポーツ機会の創出のためにスペシャルオリンピックスとの人的資源を活用した連携強化を提案する。

答 良い提案だと思う。スポーツ振興計画の一つとしても大事なことで考えていきたい。

その他の質問

問 みあれ祭の無形民俗文化財指定について、一次産業PRのためにキッチンカーの導入を

地方教育行政の法律改正について

宗像志政クラブ／伊達 正信

問 いじめ対応について子どもたちが考え、いじめ根絶を目指す取り組みを本市でも取り入れられないか。

答 大変良い取り組みだと思う。今後、県での研修会などを踏まえて、取り組んでいきたい。

問 教育委員会活性化のため、新たな人数枠で専門分野に精通した教育委員を登用できないか。

答 専門的知見や幅広い経験を持った人材を適切に選任することで、委員を増やすことなく、教育委員会の機能は発揮できると考える。

認知症対策について

福岡都市圏「徘徊高齢者捜してメール」とはどのようなものか。

答 福岡都市圏内で行方不明者が発生した場合、協力サポーターなどにメールを一斉配信し、早期発見に取り組むもので、本市も今年11月から参加している。



定住化の推進について

宗像志政クラブ／井上 正文

問 定住化推進事業の実績は。

答 家賃補助などの助成制度において、この2年半で約900件の申請があり、1500人が転入した。そのうち、中古住宅の購入は230件あり、空き家減少にも一定の効果が出ている。

問 定住化推進の広報活動を行政と市民が協力し、「地域コミュニティ活動が活発で、市民が元気なまち」という本市の優位性をPRしてはどうか。

答 本市の大きな強みであると思うので、ぜひ進めたい。

都市再生について

都市再生（団地再生）に向けた国の支援事業の活用と財源確保の具体的な方策と手順は。

答 国からの財源確保のため、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を来年度から行いたいと考えている。



活力ある地域産業活性化のために

無所属／高原 由香

問 空き店舗や空き家を活用した事業の進捗は。

答 空き店舗所有者との協議を行っている。市独自の起業塾などを開催し、地域を活性化していく考えはないか。

問 起業塾などについては、考えていない。

教育に福祉の観点を

子どものライフステージにおけるサービスの移行についての見解は。

答 就学前からフオーローや進学時、就労時にフオーローが途切れないよう引き継ぎを徹底している。

問 社会資源の情報収集



健康寿命を延ばすスポーツ推進

とびうおクラブ／北崎 正則

問 健康寿命を延ばすためにスポーツと運動をどう関わらせるのか。

答 ライフステージに応じたスポーツ環境を整え、生涯にわたる健康づくりを支援し健康寿命を延ばしていく。

問 市民一人一人が自己管理できるヘルスアプリ（※2）や健康マイレージ制度を導入できないものか。

答 市民エンジョイ・ウォーキングや健康マイレージ制度などを組み込むことを検討していく。

その他の質問

問 モデルコミュニティ事業などをどう進めているのか。



健康マイレージポイントカードのイラスト

こうとしているのか。

答 コミュニティや大学と連携して、実践活動や学術検証を行いたい。

問 拠点的なスポーツ施設をどのように考えているのか。

答 既存施設の再構築を含め第2次スポーツ推進計画の中に盛り込む。

問 漁業の再点検を、教育について

地方創生による街づくりについて

とびうおクラブ／森田 卓也

問 「日本創生会議リポート」を受けて、人口減少問題に対する市長の基本認識について問う。

答 人口減少問題に取り組む市長のビジョンと決意を伺う。

問 都市ブランドの推進、団地再生などの定住施策および地域資源を生かした地域活性化に取り組む。

答 努力目標である地方版総合戦略について、本市はどのような方向性で策定する予定か。

答 将来人口目標や定住化、地域経済活性化、子育て支援施策など、既に



総合計画に掲げ取り組んでいる施策もあるが、情報収集を行いながら新しい計画の策定について前向きに検討する。

問 子育てや定住化施策をさらに進め、本市独特の発展モデルとして地方創生特区にできないか。

答 施策の内容の精査や特区についての研究をし、取り組みたい。

マイナンバー制度導入について

宗像志政クラブ／花田 鷹人

問 どのような行政サービスの向上が考えられるのか。また、サービス低下は発生しないのか。

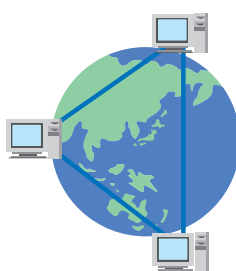
答 手続きの負担軽減などの利便性の向上、所得などの正確な把握による公平・公正できめ細やかな行政サービスの実現ができる。個人情報保護措置は必要であるが、サービス低下はないと考える。

問 どのような行政事務の効率化、合理化が図られるのか。

答 情報の照合や入力などの事務負担軽減、事務作業の重複の解消などが

その他の質問

まちづくりにおける周辺地域拠点整備についての考え方は



※1クラウドファンディングがある目的のため、インターネットを通じて支援者から資金を集める手法 ※2ヘルスアプリウォーキングの際、歩数、距離、速度などをスマートフォンに随時記録するアプリケーション

認知症になっても安心なまちに

ふくおか市民政治ネットワーク／杉下 啓恵

問 認知症を正しく理解する人の輪を地域に広げるための、サポーター養成講座の受講状況は。

答 以前は20代以上の受講者がほとんどであったが、25年度以降は市内の小・中学校や高校でも受講され、10代が500人を超えている。

問 認知症予防に向け、地域との連携は。

答 定期的に交流会を実施。各コミュニティを中心とした事業を計画中。



認知症サポーター養成講座の受講者のみなさん

地域公共交通の今後の方針を問う

宗像志政クラブ／神谷 建一

問 市民の交通手段の一つである地域公共交通。運営経費の最終限度額は。

答 状況の推移を見る必要があり、金額を見込むことは困難であるが、利用者のニーズを確保した上で、事業の効率化を図り経費を抑えていく。

問 サービス向上のために、民間業者への運営の委託は可能か。

答 状況の推移を見る必要があり、金額を見込むことは困難であるが、利用者のニーズを確保した上で、事業の効率化を図り経費を抑えていく。



平成27年4月に中高一貫校を開校する宗像高等学校

宗像中学校から、宗像の教育は

宗像中学校から、宗像の教育は

問 市内小中学校の子どもたちの現状把握と、保護者に対する対応は。

答 10月の説明会の参加者は約1200人。受験希望者に対し、各小中学校で個別に対応している。

問 小中一貫教育への影響や効果、今後の教育活動の発展は。

定住化政策の効果を検証する

市民連合／福田 昭彦

問 人口減少を食い止めるために定住化政策が矢張り、その成果は。

答 子育て家族など若い世代に住んでもらえるよう、まちの魅力や居住環境のPRに取り組んできた。家賃補助や中古住宅購入補助制度などを実施した結果、人口も増加傾向にある。

キャンプ地誘致の取り組みを

キャンプ地誘致の取り組みを

問 ラグビーW杯キャンプ地誘致の進捗は。

答 今後、誘致準備委員会を立ち上げ積極的に取り組んでいく。



前キャンプ地としてブルガリアと直接交渉している。

問 カザンラック市とは密に交流しているのか。

答 対外的な人間関係を構築でき、市民同士の結びつきも強められる。

人口減少問題をどう克服するか

公明党／石松 和敏

問 戸建て住宅の最低敷地面積200平米を基準緩和できないか。

答 今後、検討していく。

問 郊外型に進んだ住宅開発を集約型に方向転換するのは可能か。

答 都市再生を行うには、住宅の建替えや住替えを促進していく必要がある。また、医療機関や店舗など都市機能の誘導も行う必要がある。



宗像市内の住宅街（日の里地区）

児童生徒の海外派遣見直しを

日本共産党／植木 隆信

問 児童・生徒の海外派遣事業は、異国の文化や風土などに触れる重要な取り組みと理解している。しかし、個人負担が重く、参加対象者が限られている。個人負担の見直しを求める。

JR赤間駅に待合室を

JR赤間駅に待合室を

問 高齢者を含む赤間駅利用者から待合室の設置を望む声が上がっている。冬の寒さや夏の暑さに対応可能なエアコン付

答 希望者全員が個人負担なく参加できることは望ましいが、財源が税金

世代間交流のあるまちづくりへ

日本共産党／新留 久味子

日の里、自由ヶ丘地区などは高齢化に伴い、さまざまな課題がある。そこで、市内の3大学に通う学生を対象に家賃補助制度を提案する。

問 この制度は、UR（※4）の団地に大学生が2人以上で住み、地域貢献活動を行うことを条件に家賃の半額を補助するも

答 市内住宅団地では、建物の老朽化や居住者の高齢化、空き家の増加など多くの課題が発生しているため、これまでの拡

滞在型観光施設の充実をめざして

日本共産党／末吉 孝

問 道の駅むなかたの収益の使途は。

答 災害などに備えての内部留保、宗像地域の産業、経済を活性化するための活用。出資団体への利益配分。26年度はふるさと寄附金として1500万円寄附された。

問 本市の宿泊観光客数の動向は。



答 関係団体に聞き取りをし、融資の返済期間の拡大を検討中。その他の支援策は意見交換をしながらから考えていく。



散型の都市構造から持続可能な社会システムの構築への転換が不可欠である。特に日の里地区ではUR賃貸住宅の空き家が多いため、UR、大学と連携をとりながら、内容の検討を進めたい。



答 赤間駅の利用者や駅員を対象に、待合室を利用する可能性のある人の数などを調査する。多くのニーズがあれば、待合室の設置が可能か調査をする。

●●● 提出議案と議決結果 ●●●

12月定例会で審議し、可決した議案のうち、賛否が分かれた議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】 * 吉田益美議長は、議員として議決に加わる権利を有しません。

議 案 名	議員氏名 議決結果	井上正文	吉田剛	森田卓也	高原由香	安部芳英	岡本陽子	北崎正則	伊達正信	杉下啓恵	神谷建一	花田鷹人	福田昭彦	小島輝枝	新留久味子	石松和敏	小田英俊	植木隆信	末吉孝
																	◆	○	○
少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○

議会での
事業評価を実施

初の試み

議会の重要な役割の一つである予算執行の決定をより適切に行うため、行政が行う事務事業について、議会としての事業評価を行いました。3常任委員会でそれぞれ評価対象事業を抽出し、平成26年10月に、執行部の担当部署から事業についての聞き取りを行った上で、「必然性（公共性）」「必要性」「費用対効果」「成果」の4つの視点で評価を行い、右記の評価結果を執行部に報告しました。

事務事業名	今後の取り扱いレベル(注1)	今後の取り扱いに関するコメント（抜粋）
学校情報化事業、校務支援事務、学校情報化モデル検証事業	B	ICT機器の導入・活用については、今後も、現場の声を聴き、推移を見て、必要性を検証しながら進めてほしい。
シティプロモーション ^(※1) 事業	C	「シティプロモーション」の定義を明確にする必要がある。観光、定住化など分野ごとに、対象や目標を明確にし、効果的な手段を選択すべきである。評価指標をつくる必要がある。
子ども育成推進事業	C	本市で育てたいグローバル人材とは何か、市の方針や姿勢を示すことが必要。これまでの事業内容は、民間でもできる内容ではないか。市が実施することの効果が明確ではない。
男女共同参画推進センター事業	C	今後、相談事業などを充実させるためには、困難さを抱えている女性に支援ができていかななどの視点が必要である。
観光プラットフォーム ^(※2) 推進事業	C	経済指標を確立し、毎年の効果などを検討していくことが必要である。イベントやキャンペーンの効果については、しっかり検証すべきである。
離島振興施設運営事業	C	新たな顧客、リピーターを増やすために、多くの観光客を呼ぶための方策を考えて、サービス、イベントなどソフト面の充実を図ること。営業、企画力の向上を図ること。

(注1) 今後の取り扱いレベル A：拡大 B：現状維持 C：改善 D：縮小 E：廃止（休止）

新・常任委員会、議会運営委員会名簿
平成26年第1回臨時会（11月4日）

常任委員会、議会運営委員会は議会の内部組織です。
常任委員会 …本会議における審議の予備的審査や調査を行います。
議会運営委員会 …議会の運営に関する事項などを協議します。

委員会名	総務常任委員会	社会常任委員会	建設産業常任委員会	議会運営委員会
担当する事項	総務部、経営企画部、教育委員会、監査委員、および公平委員会の所管に関する事項ならびに他の委員会の所管に属しない事項	市民協働・環境部、健康福祉部、および子ども部の所管に関する事項	都市建設部、産業振興部、下水道課および農業委員会の所管に関する事項	議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する事項
委員長	神谷建一	植木隆信	小島輝枝	石松和敏
副委員長	安部芳英	伊達正信	北崎正則	神谷建一
委員	小田英俊	福田昭彦	末吉孝	植木隆信
〃	石松和敏	花田鷹人	岡本陽子	小島輝枝
〃	新留久味子	杉下啓恵	高原由香	花田鷹人
〃	井上正文	森田卓也	吉田剛	北崎正則

▼本会議と常任委員会は傍聴可能です(定員は本会議60人、常任委員会15人。会議開始は通常午前10時から)。市内公共施設や市ホームページでも視聴できます。

編集後記

本日より二年間、「市議会だより」の編集を、下記6議員の広報編集部会で行うことになりました。新しい体制のもと、市民の皆さんに分かりやすく親しみを感じていただける誌面づくりを心がけてまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

部会長 井上 正文



【前列左から】安部議員（副部会長）、井上議員（部会長）
【後列左から】北崎議員、福田議員、高原議員、伊達議員

議員研修会

昨年10月24日宗像市役所にて議員研修会を開催しました。講師に北九州市議会事務局政策調査課政策係長の森幸二氏をお迎えし、条例や議員立法について学びました。講義の後は活発な質疑応答の時間となりました。



域公共交通総合研究所の理事長小嶋光信氏より、地域公共交通をめぐめる地方公共団体の課題について学びました。

議場コンサート

昨年12月24日(水)日の里中学校吹奏楽部によるミニコンサートが議場にて行われました。昨年大ヒットした「Let It Go」など6曲が演奏され、いつもは真剣な空気が満ちている議場があたたかな雰囲気になりました。



3月定例会の日程

(予定)

日程

27	23	20	19	17	16	12	11	10	9	6	5	4	3	3/2	日程	内容
金	月	金	木	火	月	木	水	火	月	金	木	水	火	月		
本会議(委員会報告、質疑、討論、採決)	委員会予備日	予算第2特別委員会	予算第2特別委員会	予算第1特別委員会	予算第1特別委員会	建設産業常任委員会	社会常任委員会	総務常任委員会	本会議(予備日)	本会議(一般質問、大綱質疑)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(代表質問)	本会議(施政方針・議案上程、提案理由の説明)		

▼3月定例会の代表質問と一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載し、市役所でも配布します。
▼3月定例会で審査する請願の提出締切日は2月23日(月)です。

▼予算第1特別委員会は一般会計を、予算第2特別委員会は特別会計と企業会計を審査します。
▼本会議と委員会は、市内の公共施設や市ホームページで中継しています。

3月定例会の見どころ

■施政方針
どんな市政運営をしていくのか、市長の施政方針、教育長の教育施政方針演説が行われます。

■代表質問
各会派の代表議員が、市長の施政方針、教育長の教育施政方針に対し質問します。
■予算特別委員会
投資的事業や新規事業を含む27年度の年間の予算を審査します。



市議会に関する問い合わせは
議会事務局 Tel 0940(36)1119

市議会のくわしい情報はホームページをご覧ください。

宗像市議会

検索